

キャリア教育における「京の子ども 明日へのとびら」の活用実践事例  
小学校・高学年編 第2部 9  
「わたしたちの夢」

道徳指導案

- 1 学年 第5学年
- 2 高学年のキャリア発達課題
  - (1) 自分の役割や責任を果たし、役立つ喜びを体得する。
  - (2) 集団の中で自己を生かす。
  - (3) 社会と自己のかかわりから、自らの夢や希望をふくらませる。
- 3 高学年におけるキャリア発達にかかわる諸能力
  - (1) 意思決定能力
    - 【選択能力】
      - ・係活動等で自分のやりたい係、やれそうな係を選ぶ。
      - ・教師や保護者に自分の悩みや葛藤を話す。
    - 【課題解決能力】
      - ・生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。
      - ・将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする。
  - (2) 人間関係形成能力
    - 【自他の理解能力】
      - ・自分の長所や欠点に気付き、自分らしさを発揮する。
      - ・話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。
    - 【コミュニケーション能力】
      - ・思いやりの気持を持ち、相手の立場に立って考え、行動しようとする。
      - ・異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。
  - (3) 将来設計能力
    - 【役割把握・認識能力】
      - ・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。
      - ・仕事における役割の関連性や変化に気付く。
    - 【計画実行能力】
      - ・将来のことを考える大切さが分かる。
      - ・憧れとする職業を持ち、今、しなければならないことを考える。
  - (4) 情報活用能力
    - 【情報収集・探索能力】
      - ・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。
      - ・自分に必要な情報を探す。
      - ・気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する。
    - 【職業理解能力】
      - ・施設・職場見学等を通し、働くことの大切さや苦勞が分かる。
      - ・学んだり、体験したりしたことと、生活や職業との関連を考える。

参考『児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について』(国立教育政策研究所・生徒指導研究センター)

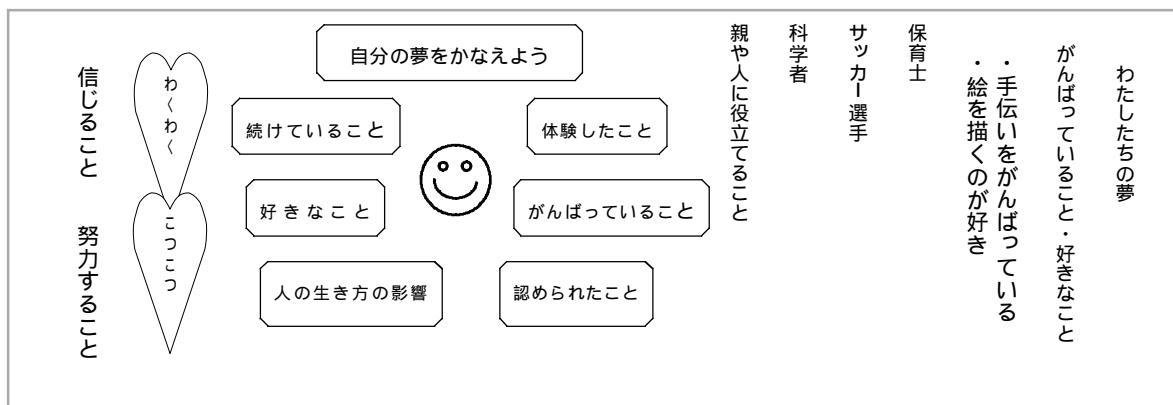
- 4 関連する教育活動 社会科、総合的な学習の時間
- 5 関連する道徳の価値 1 - (2)、4 - (4)
- 6 本時のねらい
  - ・将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする。(意思決定能力【課題解決能力】)
  - ・将来のことを考える大切さが分かる。(将来設計能力【計画実行能力】)道徳の時間としてのねらい  
将来の生き方への関心を高め、より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけずに努力していかうとする道徳的実践意欲と態度を強くする。 1 - (2)
- 7 授業改善の視点

- (1) 教材・教具の工夫
  - 「事前アンケート」や「応援メッセージ」、「心のノート」を効果的に活用したり、児童の関心を高めるための教具(ドリームボックスなど)を準備・活用したりする。
- (2) 言語活動の充実
  - グループ活動を行い、話し合ったことをまとめて、発表させる。

8 本時の展開

過程	学 習 活 動	主 な 発 問 予想される児童の反応	指導上の留意点	資料・評価等
導 入	1 事前アンケートの結果を知る。	<p>「見つけよう、自分のよいところ」アンケートの結果を見てください。 【自分のよいところ、がんばっていること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育が好きでマットが得意。</li> <li>・時間があるときは、母や父の手伝いをする。</li> <li>・絵を描くのが好き。</li> <li>・歌を歌うのが好き。</li> </ul> <p>【将来の夢が決まっていますか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半分くらいの人が「決まっています」でした。</li> </ul> <p>きょうは、「わたしたちの夢」という勉強をしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にアンケートを実施。</li> <li>・どのような自分のよさに気付いているか、将来の夢が決まっているかを知らせる。</li> </ul>	
展 開	<p>2 資料を読む 3 内容を話しあう。</p> <p>4 発表する</p> <p>5 自分について考える。</p>	<p>4 人の人たちは、どんな「夢」を持っていますか。また、夢を持つきっかけとなったことはどんなことでしょうか。グループで話し合ってみましょう。</p> <p>話し合ったことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士 1年生の世話を上手やなぁと言われて</li> <li>・サッカー選手 小さいころからの経験</li> <li>・科学者 一冊の本を読んで</li> <li>・親や人に役立てること ボランティア活動を知って</li> </ul> <p>この箱の中には、今発表してもらった「夢のもと」のキーワードが入っています。「私にもこんなことがあったよ」ということを思い出してみてください。</p> <p>では、最初に【認められたこと】・ ・ 順に 【体験したこと】・ 【続けていること】・ 【好きなこと】・ 【人の生き方の影響】・ 【がんばっていること】・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで1段落ずつ分担し、「その人の夢」と「夢を持ったきっかけ」を読み取らせて発表するように指示する。</li> <li>・「ドリームボックス」から「夢のもと」になるキーワードを取り出し、それぞれについて意欲的に考え、発表できるようにする。</li> <li>・最初のアンケート結果なども使いながら、多くの児童が発言できるように工夫する。</li> </ul>	<p>将来のことを考える大切さが分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリームボックス</li> <li>・フラッシュカード</li> </ul>
	<p>6 「応援メッセージ」を読む</p> <p>7 自分の夢を書く</p>	<p>応援メッセージには、何が大切だと書いてありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思い切り背のびをすること</li> <li>・必ず実現すると信じること</li> </ul> <p>自分もこんな夢を持って、こんな努力を続けていきたいと思うことを考えてカードに書いてみましょう。</p> <p>書いてもらった夢を紹介してもいいですか。(数名のカードを紹介)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢が決まっていない場合は、「こんな人になりたい」と書いてもよいことにする。</li> <li>書いたら、「夢をかなえるボックス」に入れさせる。</li> </ul>	<p>将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カード</li> <li>・夢をかなえるボックス</li> </ul>
終 末	8 夢を実現させた人について知る	この写真は誰でしょう。(共通点)「子どもの頃の文集に、夢は今の職業と書いていた。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イチロー、授業者の写真を順番に見せる。(授業者も子どものころ小学校の先生になりたいと思っ て、夢が叶ったことを話す)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心のノート P16.17</li> </ul>

## 9 板書計画



## 10 生徒の反応等

### 【授業者の思い(ねらい)】

「あなたの夢は、何ですか。」と聞かれて、はっきりと答えられる児童は何人ぐらいいるだろうか。何となく、憧れているものはあるものの、夢がはっきり決まってい、それに向かって努力をしている、といえる児童はそう多くはないだろう。また、自分の良さや特性、可能性に気付いていなかったり、目的意識を持つことができなかつたりすることの方が多いと思われる。

また、近年フリーターなど決まった職業に就くことを望まずに、その日暮らしてもかまわないという考え方を持つ人たちがいることが、広く知られ、世間一般にも容認されているという現実もある。反面、幼い頃からの自分の夢を叶えて活躍している人たちがいることも事実である。

ここでは、まず児童に「見つけよう、自分のいいところ」というアンケートを行うことで、児童自身が自分の良さや特性に気付く機会を設けたい。そして、資料を通して、4人の夢やその夢を持ったきっかけを知ることで、今まで自分が感じていた自分の良さの他にも、将来の夢につながる可能性を持っていることに気付かせたい。また、応援メッセージから、夢を実現させるために今の自分にできることを考えさせようようにしたい。

このような活動を通して、まだ夢がはっきりしない児童には、何かしら自分の夢につながる可能性を見い出せる機会になることを期待している。また、夢がはっきりしている児童にとっては、夢を実現させるために努力することの大切さを考えるきっかけとなってほしいと考えた。

### 【児童がカードに書いた夢】



### 【児童の授業後の感想より】

児童1 私は一人一人がちがうことに気がつきました。それぞれの人がいろいろな夢を持つと、その人がやるべきことが変わってくることに気がつきました。

児童2 私はこの学習をして、将来の夢のことに真剣に考えるようになりました。私の将来の夢は、「動物園の飼育員」ですが、本当にそれでいいのかを考えています。私にはまだ続けていることもたくさんあるし、がんばっていることもあります。だから、そのことも大切にして考えたいと思います。